



9/23 2024
(月・祝)

プロムナードコンサート No.408

PROMENADE CONCERT

会場：サントリーホール

指揮／藤岡幸夫

ギター／山下愛陽*

吉松 隆：
鳥たちの時代 op.25 (1986) (約18分)

ロドリゴ：
アランフェス協奏曲* (約23分)

レスピーギ：
交響詩《ローマの松》(約21分)

ホールでの
過ごし方

- ◎携帯電話や音の鳴るモノは電源を切りましょう。
- ◎演奏中はお話しないで静かに聴きましょう！周りの人も演奏を楽しみに来ています。
- ◎公演中の録音・録画、写真撮影は禁止です。終演後のカーテンコール時のみ写真の撮影が可能です。

PROGRAM NOTES

今日のコンサートでは、オーケストラがキラキラとカラフルな響きを生み出し、自然や街や人の営みを、スケールの大きな音楽で表現していきます。協奏曲ではギターの音色をじっくりと味わいましょう。

吉松隆：鳥たちの時代 op.25

みなさんは空高く舞う鳥たちの姿を見たり、美しいさえずりを聞いて、ふと心が動く瞬間があるでしょうか。いつの時代も鳥たちは、芸術家の想像力を刺激し、鳥にまつわる素敵な音楽作品が生まれてきました。

《鳥たちの時代》を作曲した吉松隆さん（1953～）も、鳥からインスピレーションを得た一人です。1986年に初演されたこの作品は、西洋音楽の伝統的な響きを大切にしながらも、新しい音楽を追い求め、まさに世界へと羽ばたこうとしていた吉松さんの若き日の傑作です。

この曲について書かれた吉松さん自身の言葉によると、「鳥たちのさえずりや歌の音型だけでなく、翼を広げる様や、羽毛の柔らかさ、枝の上や地上での仕草、群れをなして空を飛翔する姿、など様々なもの」が、オーケストラによって描かれています。Sky (=空)「空が鳥たちに与えるもの」、Trees (=木々)「樹が鳥たちに語ること」、The Sun (=太陽)「太陽が鳥たちに贈るもの」という3つの楽章に分かれています。空・樹・太陽は鳥たちにどのように働きかけ、鳥たちはどんな姿を見せているでしょうか。想像しながら聴いてみましょう。

ロドリゴ：アランフェス協奏曲

続いてはギターの独奏とオーケストラのための作品です。タイトルの「アランフェス」とは、スペインの首都マドリードの南にある街の名前です。アランフェスにはかつてのスペイン王の宮殿や庭園、そして歴史を伝える古い教会もあり、世界遺産にも登録されています。そんな素敵な街が、1936年には激しい内戦（政治的に異なる考え方をもったスペイン人同士の戦争）のために荒らされ、数十万人もの人が命を落とすという悲劇がありました。

スペインの作曲家ホアキン・ロドリゴ（1901～1999）は、戦乱で傷ついた人々の魂を慰めようと、1939年に《アランフェス協奏曲》を作曲しました。ギターはスペインで大きく発展し、人々に愛され続けてきた楽器です。ギター協奏曲は当時としては珍しく、このジャンルの代表的作品となりました。曲は3つの楽章で構成されています。とくに、第2楽章でイングリッシュホルンの奏でる哀愁に満ちた美しいメロディーは、のちにポピュラー音楽やジャズとしてもアレンジされ、多くの音楽家によって演奏されています。

クラシック・ギター (Classical Guitar) とは

ガット、ナイロン、フロロカーボンなどの弦が張られたギターのこと。
標準的には6本の弦と19のフレットを持つ。



レスピーギ：交響詩《ローマの松》

イタリアの首都ローマもまた、古い遺跡が残り、カトリック教会の歴史を伝える重要な都市です。ローマで活躍したオットリーノ・レスピーギ（1879～1936）は、色鮮やかなオーケストラ音楽で人気の作曲家です。彼はローマの自然や歴史、人々の様子を、交響詩《ローマの噴水》（1916年）、《ローマの松》（1924年）、《ローマの祭り》（1928年）という「ローマ三部作」で表現しました。

《ローマの松》は、何世紀にもわたってローマを見守り続けてきた松の木々がたたずむ4つの場面を描きます。「ボルゲーゼ荘の松」「カタコンベ付近の松」「ジャンニコロの松」「アッピア街道の松」の4楽章は、切れ目なく続けて演奏されます。

最初の「ボルゲーゼ荘」は美しい庭園です。輝くようなサウンドで、子どもたちが生き生きと遊ぶ様子を伝えます。一瞬で静かになり、重く静かな音楽が聞こえてきたところから「カタコンベ付近の松」です。キリスト教徒の地下のお墓カタコンベで、古代ローマの人々が厳かに祈りの歌を歌っています。遠くから響くトランペットや荘厳な弦楽器が聖歌の調べを奏でます。やがて、ピアノのパッセージに続いてクラリネットが美しいメロディーを歌い始めたところから「ジャンニコロの松」です。ローマ西南部にある丘ジャンニコロに満月が静かに輝いています。楽章の終わりには、ナイチンゲールの鳴き声も響きます。そこから静かに行進曲が始まり「アッピア街道の松」となります。古代ローマ軍が行進する様子を、高らかに響く金管楽器と打楽器とが盛大に盛り上げ、曲はクライマックスを迎えます。



アッピア街道の遺跡と松並木

文／飯田有抄（クラシック音楽ファシリテーター）

【オーケストラ配置図】

9/23 プロムナードコンサート No.408

※楽器の配置は一例です。
当日のステージで確認してください。

大太鼓、シンバル、トライアングル、タムタム
グロッケン、タンブリン、ガラガラ、鳥の声
鈴、カステネット、銅鑼、リン（お寺の鐘）
サスペンデッドシンバル、クラベス、チャイム
アンティークシンバル
ヴィブラフォン
シロフォン

ティンパニ

パイプオルガン

トランペット

トロンボーン

テューバ

クラリネット
バスクラリネット

ファゴット
コントラファゴット

ホルン

フルート
ピッコロ
アルトフルート

オーボエ
イングリッシュホルン

ピアノ

チェレスタ

第二ヴァイオリン

チェロ

ハーブ

第一ヴァイオリン

ヴィオラ

コントラバス

指揮者

★コンサートマスター

《ローマの松》
バンダ (Banda)



※バンダはオーケストラの本編成から離れた位置で演奏する別動隊のこと。
舞台上・舞台裏・客席などで演奏します。



© Shin Yamagishi

指揮

藤岡幸夫 Sachio FUJIOKA, *Conductor*

日本指揮者界の重鎮であった渡邊暁雄最後の愛弟子。ゲオルグ・ショルティのアシスタントを務めた。英国王立ノーザン音楽大学指揮科卒業。1994年「BBCプロムス」にBBCフィルハーモニックを指揮してデビュー以降、多くの海外オーケストラに客演。現在は関西フィルハーモニー管弦楽団首席指揮者、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団首席客演指揮者を務めている。指揮・司会として関西フィルと共に出演中のBSテレ東『エンター・ザ・ミュージック』は10年目、放送500回に迫る人気番組。CDシベリウス交響曲全集、著書に『音楽は好きですか?』（敬文舎）などがある。2002年渡邊暁雄音楽基金音楽賞受賞。



©HIROMI HOSHIKO

ギター

山下愛陽 Kanahi YAMASHITA, *Guitar*

1997年生まれ。ベルリン芸術大学ギター科学士および修士課程、声楽科を経て、ニュルンベルク音楽大学ギター科修士課程を修了。現在、同大学国家演奏家資格課程に在籍。幼少よりギタリストの父・山下和仁のもとで学び、渡独後トマス・ミュラー＝ペリング、カルロ・ドメニコニに、現在はビョルン・コレルに師事。7歳から「山下和仁ファミリークインテット」や父とのデュオで公演を重ね、13歳の時にトリノでソロ・デビュー。2015年よりベルリンを拠点に世界各地でソリストとして、また室内楽の分野でも精力的な活動を展開している。2021年イザローン国際ギター・コンクール第2位ほか、国際コンクールでの受賞多数。

東京都交響楽団 Tokyo Metropolitan Symphony Orchestra

東京オリンピックの記念文化事業として、東京都が1965年に設立しました。都響（ときょう）という愛称で親しまれています。

東京文化会館（上野）を本拠地としてサントリーホールや東京芸術劇場などで定期的にオーケストラの演奏会を開催しています。交響組曲『ドラゴンクエスト』（全シリーズ）や『Fate/Grand Order』などゲーム音楽の演奏や、都内の小中学生を対象に開催している音楽鑑賞教室、病院や福祉施設への出張演奏など多彩な活動を展開しています。2021年7月に開催された【東京2020オリンピック競技大会】開会式では、「オリンピック賛歌」の演奏（大野和士指揮／録音）を務めました。



© Rikimaru Hotta


<https://www.tmsso.or.jp/>


都響ヤングシートは、企業や団体からご支援をいただき、サントリーホールでのプロムナードコンサート、東京芸術劇場での定期演奏会Cシリーズなど、休日昼間の都響主催公演を中心に青少年をご招待し、オーケストラコンサートをお楽しみいただいています。ご支援企業については月刊都響をご覧ください。